

I. 活動成果及び今後の課題

(注) 各項目の記述には必要な分量のスペースを使ってください。

(1) 活動成果
・岩手の胆沢ダム直下にあるスラロームコースにて代表合宿が行われました。
ここは自然の川にあるヌースラロームコースの中でも、水のうねりやウェーブの高さなど難易度の高いスポットがたくさんあり、私が克服したいと考えているレースのライン取りを身につける上で、
レース形式の有益な練習ができました。
2021/8/7-8
・コロナ禍にあり、当初予定していたジャパンカップ第6戦（岩手）は延期、場所を東京都江戸川区（カヌースラロームセンター：東京五輪会場）に移し、日本選手権として開催になりました。
この試合に先立ち、競技規定が変更されるためにウェアを新調しました。
いつも自然の川で練習している私にとって、人工的に流れを作り出したコースは、水の強さも流れも歯が立たず心が折れそうでしたが、その中でも女子ジュニア（U・18）で一位になれたことは自信に繋がりました。総合（全年代）では入賞まであと一歩及ばず7位で悔しかったです。
今後世界を目指していく私にとって、世界標準の人工コースで漕ぐことができる機会をいただいたこと自体が有難く、そしてTokyo2020のレガシーが早くも活用されていることが嬉しく感じました。
2021/11/12-14
・日本選手権の翌週からは富山県の井田川カヌースラロームコースでナショナル合宿がありました。
この川は人工コースではなく自然の川ですが、スラロームのコースとして難易度を高めるために、手を加えている川です。フランスではこういった「半人工コース」が国中にたくさんあるそうです。
合宿中はシニアの選手と一緒にナショナルチームのコーチ陣に新しい技術を教えていただきました。
他にも、敢えて流れが緩やかな川にも行き、合宿から帰ったあと各自の練習場所でどういった練習をするべきか、というところまで面倒をみていただきました。
これは溪流が無い地域に住む私にとってはとても実用的なトレーニングでした。
2021/11/20-21
・オリンピック会場の葛西スラロームセンターを使用して、代表合宿がありました。
人工コースで漕ぐことのできるチャンスはなかなか無く、連盟のスラローム強化部長である山中コーチの指導を受けて、難しいコースの漕ぎこみができました。やはり穏やかな自然の川で練習するのは体力もテクニックも全く違うもので、水のパワーに負けない体作りも必要だと感じました。
2021/11/22,23,27
・12月東京都青梅市で一泊二日の代表合宿がありました。
御岳溪谷と駿河台大学カヌー場を使用して、一つ一つのテクニックに丁寧に磨きをかける合宿でした。
海外の強い選手も細かいテクニックをここまで突き詰める選手はいないそうです。充実していました。
2021/12/4-5

(2) 今後の課題
今後はコロナウィルスの感染拡大も落ち着き、レースが開催されそうだという見方が広がっています。
今回合宿をした富山の井田川コースでは2022年4月に日本代表選考会が予定されていますので、
ジュニア(U-18)の日本代表はもちろんのこと、U23の日本代表も狙っていきます。
U-18よりもU23の方が出させてもらえる世界大会が多いので、一つでも多く世界大会を経験して
沢山学んできたいです。
特に注目しているのはアメリカのEvy Leibfarthという選手です。
彼女は私より一歳だけ年上なのですが、既に東京オリンピックで12位という結果を出しています。
彼女からできるだけ多くの技術を盗んできたいと思っています。
そして、その際にはまた貴財団に応援してほしいので、宜しくお願いいたします。

II. 支出報告 (使途、数量等を具体的に摘要欄に記入して下さい)

費用	金額	摘要
(1) 交通費	2,100円	11/12 日本選手権(葛西) ETC料金
	15,960円	11/20-21 富山合宿 ETC料金
(2) 用具費	55,000円	競技規則変更に伴うウェア新調(ライフジャケット内蔵)
(3) 合宿費	7,286円	12/4-5 青梅合宿 カヌー連盟より一括請求
	36,599円	8月-12月合宿代 カヌー連盟より一括請求
(4) 費		
(5) その他		
合計	116,945円	差額 16,945円自己負担

※上記に記載された支出の事実が分かる領収証のコピーを添付してください。